

# 県道松尾寺豊郷線

**Q** 大型車が頻繁に通行し、振動で家が揺れる事への対策は

**A** 舗装と下水道のマンホールの段差を解消するため部分的な補修で対応する



瀧 すみ江 議員



大型車両が通る県道松尾寺豊郷線(東出地先)

**答** (建設・下水道課長)  
道路には上・下水道管が埋設されており、上水道の消火栓ボックスや下水道のマンホールと舗装との段差が原因で振動が起きているものと推測している。

**問** 湖東三山スマートインターチェンジができてから、大型車両が夜昼問わず頻繁に通行し、沿線にある家の方はその振動で家が揺れ、「夜もゆっくり眠れない」と聞いている。  
この対策を求めると

## 県道松尾寺豊郷線

県管理ではあるが、町において舗装と下水道のマンホールの段差を解消するため部分的な補修で対応する。今後も道路パトロールを実施し、湖東土木事務所と協議する。

## 学童保育

**問** 町長が出したチラシで「学童保育の拡充」という公約を掲げている。具体的にどのような拡充を考えているのか。

**答** (町長)  
現時点では保護者のニーズには答えている。就業率の上

**答** (健康推進課長)  
現在、国の審議会において、定期化が望ましいとされている「おたふくかせ」「ノロウイルスワクチン」の検討がなされており、子どものインフルエンザは含まれていないことから、助成については考えていない。

**問** インフルエンザ予防接種の負担が3,500円ならば、子どもの場合2回の接種が必要なので7,000円になる。子どもが2人なら14,000円・3人なら21,000円で、大きな負担になる。  
子どものインフルエンザ予防接種費用に対して助成すること」を求めると

**答** (健康推進課長)  
現在、国の審議会において、定期化が望ましいとされている「おたふくかせ」「ノロウイルスワクチン」の検討がなされており、子どものインフルエンザは含まれていないことから、助成については考えていない。

## 子育て支援策

昇に伴い、学童保育所の利用ニーズも高まる事が推測される。その時には既存施設を有効活用すると共に学童保育所における現状の課題を聞き取り、対処することによって質の向上をはかることを「学童保育の拡充」として、公約に掲げた。

**問** 「高齢者の安全を見守る目的で、希望者の自宅の鍵を預かる」事業を、町で取り組むことを提案する。

**答** (長寿社会課長)  
24時間責任者が鍵を保管しなければならぬなど課題も多く、現在展開している一人暮らし高齢者への安否確認を含めた見守り支援を、より充実させることが第一でもあるため、町で取り組む予定はない。

## 高齢者の見守り

**答** (住民課長)  
拡大を検討するにあたって、行動範囲が県外にも拡大することが推測され学校や医療機関との調整など、中学卒業までに拡大した時以上の課題が考えられる。また高校生の年齢は中学生より強靱な体力と免疫力を保つことが通例であることから、考えていない。

**問** 現在、行われている中学校卒業までの「医療費完全無料化」を「高校卒業の年齢まで広げる」ことを求める。

# 町内巡回バスについて

**Q** 高齢者の声に、どのように応えるのか

**A** アンケート調査等を踏まえ交通手段を検討する



谷 辰巳 議員

**問** 彦愛犬広域ごみ処理施設は、竹原に候補地として、彦愛犬広域行政組合管理者会で決定された。管理者会の決定に対する見識を聞く。

**答** (町長)  
現時点においては彦愛犬広域行政組合の管理者会により竹原地区が候補地と決定。それに対し、地域住民の様々なご意見があると認識している。

**問** 「新ごみ処理施設の候補地・地域の皆様と信頼関係を構築」と書いているだけ。町長の立つ位置及び地域の皆様と信頼関係を構築についても不明瞭であり、考え方を聞く。

**答** (町長)  
町民を代表する立場であり、町内のお声を尊重しないわけにはいかない。同時に、ごみの処理は、私たちが生活をするうえで避けて通れない重要な課題である。地域の方々の思いやご意見を重要な要素としながら、情報収集



新ごみ施設の候補地周辺からの眺望

に努め対応の検討を進めていく。

## 町内巡回バスの設置

**問** 町長は「公共交通網の整備」として「近江鉄道の連携、愛のリタクシーを拡充する」と、公約。「愛のリタクシーを拡充する」とは、どのような概念か聞く。

**答** (町長)  
「愛のリタクシーの拡充」の概念は、利用者数増を目指して利用促進策を行っていくことと考えている。今後は、予約時間の短縮や便数アッ



彦根市稲枝地域循環バス

**問** 高齢者は「自動車運転が、免許証がなければ買物等が不便で、巡回バスを設置してほしい」が声。「愛のリタクシーの拡充」をどのようにされて、高齢者の思いに込めるのか。

**答** (町長)  
平成28年度第2回地方創生推進交付金において、平成28年度から30年度までの間「あいしょう版」スポーツ×健康づくり×地域づくり」推進事

## 町長の教育論

**問** 町長は「いじめ対策・暴力対策特別委員長の委嘱」と題して、「各小・中学校、各クラスに適任の生徒を選出」と書いている。子どもたちへの教育のあり方についての哲学・考え方を聞く。

**答** (町長)  
公教育のねらいは、人間性の陶冶、社会に貢献する人づくりである。学校現場で発生している「いじめ、暴力」等々の課題解決は、子どもたちの自治力で未然に発生させない、許さない風土・環境づくりが大切。その意味で、小学校の児童会、中学校の生徒会の組織の中に、対策特別委員会を組織して取り組むことが求められていると考えている。